

2024年3月21日

各 位

双日株式会社  
さくらインターネット株式会社

双日とさくらインターネット、クラウド事業拡大のための業務提携契約を締結  
～双日グループにおけるデジタル・AI領域での協力およびGPUクラウドサービス等で協業～

双日株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 藤本昌義、以下「双日」）とクラウドコンピューティングサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 田中邦裕、以下「さくらインターネット」）は2024年3月21日、双日グループにおけるデジタル・AI領域での協力およびGPUクラウドサービスでの協業に合意し、業務提携（以下「本提携」）契約を締結しました。



【双日代表取締役社長 藤本昌義（写真右）と  
さくらインターネット代表取締役社長 田中邦裕】

生成AIの開発・活用においては海外市場が先行していますが、経済安全保障の観点からも、日本国内においてその基盤となる技術の安全性を確保し、計算資源を強化する必要性が高まっています。とくに、日本語の大規模言語モデル（LLM）の開発は喫緊の課題です。さくらインターネットは2024年1月、石狩データセンターで生成AI

向けの高性能 GPU（画像処理半導体）を搭載したクラウドサービス「高火力」の提供を開始しました。2023 年 11 月には国産企業として唯一、政府（ガバメント）クラウドに条件付きで認定されています。

双日とさくらインターネットは、2008 年に資本業務提携を締結し、継続的に連携してきました。本提携は、さらなる連携強化のため、さくらインターネットの高性能 GPU の基盤強化と双日の市場構築力を掛け合わせることで、より幅広いお客様へのサービス提供を可能にするものです。生成 AI 向けクラウドサービスにおいては、双日が持つ幅広い事業分野における需要家とのネットワークを活用し、新しいビジネスモデルやさくらインターネットの計算資源を活用したユースケースの開発と販売を共同で実施するほか、ガバメントクラウドを含むクラウドサービス事業推進のための協力、関連事業や機能拡張のための共同投資の検討などを行います。

両社は、さくらインターネットと双日のビジネスとのシナジーを同時に追求し、双方の企業価値向上を目指すとともに、日本のデジタル社会の発展に向け貢献していきます。

#### <提携内容>

1. クラウドサービス事業における協力
  - さくらインターネットが提供する GPU クラウドサービスにおける新しいビジネスモデルやユースケースの共同提供
  - ガバメントクラウドを含む事業推進のための体制構築、ならびに顧客開拓に関する相互協力
2. さくらインターネットの成長戦略に沿った新規プロジェクトに対する支援、共同推進または共同事業投資
3. 双日グループの AI 関連事業における計算資源提供に関する協力

双日株式会社 代表取締役社長 藤本昌義のコメント

「デジタル活用の徹底は、当社の次期中期経営計画における成長戦略（※）の柱の一つです。本提携を通じて、自らも計算資源を活用し当社既存事業の DX と新規事業の具現化を進めると同時に、さくらインターネットの成長を加速させ、ひいては双日グループが日本のデジタル社会の一翼を担えるよう取り組んでいきます。」

さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 田中邦裕のコメント

「さくらインターネットは創業時のインターネット黎明期より、クラウド事業に注力してきました。今後、クラウドはますます社会基盤として、必要不可欠なものになっていくと私は考えています。当社は社会基盤を支えるデジタルインフラ企業を目指し、双日グループを始めとする様々な企業と協力してまいります。」

（※）双日は、中期経営計画 2023 において、事業モデル・人材・業務プロセスをデジタルトランスフォーメーション（DX）により変革し、企業価値の創造につなげていくことを掲げてきました。新年度にスタートする中期経営計画 2026 においても、「双日らしい成長ストーリーの実現」のための基本方針として「Digital in All」を継承し、デジタル活用の徹底による新たな価値創造に取り組んでいきます。

**【本件に関する問い合わせ】**

双日株式会社 広報部 03-6871-3404

さくらインターネット株式会社

広報担当 問い合わせフォーム：<https://sakura.f-form.com/sakurapr>